

67 「千葉県を歩く7 佐原へ」

これまで私の住む千葉縣市原市青葉台から、千葉県内のいろいろな地域を目指して歩いてきた。主な地域へは行ったが、敢えて言えば成田方面が残っているので今回は成田を目指して行くことにした。

■ 2, 017年09月21日(金) ①青葉台→浜野

9月に入り天気が安定せず、一昨日台風が去ったばかりだ。明日からまた天気が崩れるという予想なので出かけることにした。

9時15分スタート。今日は快晴のいい天気、風は爽やかで秋の気配はあるがまだ日差しは強い。

この前は水が濁っていた青葉台1丁目付近の貯水池の水は、今日は豊かで多くの鴨が気持ちよさそうに水面に浮いていた。いつも車で千葉方面に行く時に通る館山自動車道の側道を歩く。ほぼ直線で歩道が付いているので歩きやすい。

今日はいつもと足の調子が違い、何か違和感がある。最初から疲れがある感じで、この状態で何キロも歩けるだろうか不安。

先日、左足親指付け根の少し下が出っ張っているのに気づき、外反母趾ではないかと疑った。

調べたところ、歩くとき踵でなく足裏全体で接地することが原因のようだ。しかし、自分の歩きはそうだったのだろうか？違和感の原因がそのためならきちんと治さなければならない。

10時15分、廿五里橋を通過。

既に親指の付け根が痛いが大丈夫だろうか？

10時30分、市原インター東側交差点を通過。

10時45分、ファミリーマートで休憩、水を飲む。

足の親指が痛く違和感が増し、できるだけ休みを多く取りたい。

11時00分、西広下水放水路の横で木陰に座り休憩。ここは、春の花見で時々来る場所だ。

日差しが強く汗がどんどん出る。

11時40分、早めの昼食。「ゆで太郎」で冷しかき揚げソバを食べる。



養老川を渡る

30分昼食休憩し再スタート。

真昼間にセミの鳴き声が「ツクツクハウシ」しか聞こえないことに秋を感じる。

12時40分、村田川に架かる「古町橋」を渡り千葉市に入る。すぐに館山自動車道と立体交差になり、トンネルになった歩道を過ぎると、郊外型店舗が密集した古市場に入る。

今日は蘇我駅まで行きたかったが、足の疲れが酷く浜野までになりそうだ。

13時00分、休憩したいと思いスーパーbelc千



村田川を渡る

葉浜野店に入るが、椅子に座るようなスペースはなかった。1時間くらい休憩すれば足の疲れが回復し、再び歩く元気が出るかもしれないと思ったがそうはいかなかった。

歩幅が狭くなり、歩くのがかなり苦痛になってきたので、今日は浜野駅までとすることにした。JR線との立体交差の手前を左折すると駅はすぐだ。

13時15分、浜野駅に到着。まだ残暑が厳しく歩くのにはもう少し涼しい季節を待った方が良いという感じ。



■ 2, 017年10月31日(金) ②浜野→四街道

10月は気候的には一番いいはずなのに、今年は雨の日が多く歩くのに良い日なかった。久しぶりに今日は晴れの予報だったので行くことにした。

前から足の親指付け根の下に違和感があり、普通に歩く時も靴が直接骨に当たる感じで困っていた。毎日親指のマッサージをして何とかしようとしていたが、そんなに悩んでも仕方ないので、今日はその部分に布を当てショックを和らげるように工夫して歩くことにした。

10時45分浜野駅をスタート。風があり少し寒く、空には雲が少しあるが天気はいい。歩き始めてすぐに充電したはずの携帯電話のバッテリーが17%しかないことに気付く。コンセント付属のスイッチが入っていなかったようだ。歩くのにはナビが必要なので、フライトモードにして電池を節約する。

11時、生実交差点で国道16号に入る。道路脇の歩道を進んでいく。



11時15分、蘇我4丁目。国道16号に沿って歩いていくが、この道路は車優先でアップダウンが多く歩きにくい。ずっと住宅なので防音壁だらけの道路だ。

11時25分、高層ビルの淑徳大学が高速道路越しに見えた。

11時40分、京成千原線宮崎台駅を通過。

11時45分、京葉道路鎌取インターを通過。心配していた足の調子は問題ない。

12時、星久喜町に入りミニストップでコーヒータイ



ム。ミニストップは椅子があり助かる。12時15分スタート。

12時30分、加曾利交差点

12時40分、国道16号から右折、国道51号に



通じる道路に入り桜木町を進んでいく。

この道路は平坦で歩きやすく、無味乾燥的な16号

に比べて店舗や邸宅などが次々に現れ変化があって楽しい。

13時、ラーメン屋に入り昼食。13時20分再スタート。しばらく行くとタウンライナー（モノレール）下を通過し、13時25分に国道51号に合流した。

少し疲れがあり、今日の目的地をどこにするか考える。このあたりから左に入ると1kmほどでJR都賀駅だがもう少し歩けそうだ。

すぐに滑橋というバス停が見つかり、幸い路線バス（京成バス）も通っていることがわかった。バスはJR千葉駅には1時間に3便、都賀駅には1時間に1～2便くらいあることが分かったので、あと4kmほど歩いて51号沿いのJR四街道駅に通じる道路の交差点まで行くことにした。

13時35分、精神科、心療内科の篠崎病院前を通過。



零れ落ちるような柿の実

進んでいくと徐々に道路の両側は家がまばらになり、工場や畑が目立ち始めいつの間にかバス停が見当たらなくなってしまった。こうなると四街道駅まで歩くか、何とかバス路線のある道路を見つけなくてはならない。疲れは少しずつ増し、四街道駅まで歩くのは難しいかも知れない。県道66号との交差点付近にバス停があることを祈る。

かなり疲れが出て、体全体が重く歩幅が狭くなっ

て来た。14時、やっと四街道市に入る。県道66号はもう少し近いと思っていたが結構距離があった。

14時10分、やっと66号との交差点「吉岡十字路」に到着。バス停を探すが見当たらない。ファミリーマートで訊くと“その角にありますよ”と教えてくれた。「千葉内陸バス」の路線で四街道駅～千城台間を結んでいる。バス停は「吉岡」といい、便はほぼ1時間に1本だった。次のバスは14時49分発なので、ファミリーマートでコーヒーを飲みながら待つ。良かった！もう限界、これ以上歩くのは難しいところだった。



四街道市に入る

■ 2, 017年11月09日(木) ③四街道→酒々井

ここ数日秋の穏やかな天気が続いている。今日は四街道から佐倉か酒々井あたりまで歩こうと思う。そして、もし時間の余裕があり体力が大丈夫なら、佐倉の「国立歴史民俗博物館」を観に行きたい。

前回の終了地点が千葉内陸バス「吉岡」停留所だったので、そこまで行かなくてはならない。バス時刻表を調べると、四街道駅南口発千城台行きバスは、朝7:55、8:30発だけで、その後は13:45までない。だからどうしても8時30分に乗らなくてはならないので、必然的にその時間に合わせて行動することになった。

姉ヶ崎駅7:34分発に乗り四街道駅に8:13分に到着。

前回乗った時乗客は私以外一人もいなかったが、今日は7、8名の乗客だった。吉岡には8時50分に着きすぐにスタート。今日は雲一つない快晴、風が強い。気温はそれほど低くなく歩いているうちに暑くなりそうだ。前回に続き国道51号を歩く。ここは、佐倉まで11km、成田まで20kmの地点。

道路の両側はガソリンスタンド、自動車整備工場、倉庫、廃棄物中間処理場、木材センター、中古車ディーラーなどで、交通量はかなり多い。今日は北風が強く歩きにくい。

9時15分、佐倉市に入る。するとすぐに「並木」バス停を見つけた。佐倉市を中心に運行する千葉グ



佐倉市に入る



植物に覆われた壁(「並木」バス停付近)

リーンバスの路線だった。ただ、本数は非常に少なく、朝夕の通勤・通学時間帯にあわせて1本ずつ運行しているだけ。しばらく進むと成田空港まで25kmの標識があった。

9時55分、国道51号と県道277号の神門(こうど)交差点を通過。ここを左折するとJR佐倉駅だ。左足親指の付け根あたりが少し痛む。日差しが強くと強く遮るものがないので結構暑い。

佐倉市南部中学校の歩道橋のところの「南部中学校」バス停の時刻表を見ると1時間に平均3本くらい運行していた。県道277号の北側のエリアはバスの便が多い地域ようだ。

歩き始めて1時間経過し、どこか適当なところで休憩したいがコンビニなどは全くない。このまま歩き続けるしかない。

10時15分、高崎跨道橋に着いた。ここは、東関東自動車道との立体交差のポイントで、佐倉インターが近い。このように車の通行を優先した道路は歩道のアップダウンが多く歩くのが大変だ。

さらに進んでいくとJR線を大きく跨ぐ立体交差があった。地図を見るとこの地点から少し行くと総武本線と成田線が分岐するポイントだった。

10時50分、酒々井町に入る。この辺りは人家がまばらで景色の変化に乏しい。どこか休める場所がないか探すが適当なところが見つからない。このまま酒々井駅まで歩き、今日はそこで終わりにしよう。酒々井はJR線も京成線も国道51号から近く都合がいい。

休みなしで2時間も歩いたので、かなり足に疲れがたまってきた。さらにしばらく歩き、成城台南口というところまで来たところで、やっと賑やかな地域に入りローソンを見つけた。

11時10分、ローソンでコーヒーを飲み休憩。今回は京成酒々井駅まで歩きそこで終わりにしよう。



京成酒々井駅に到着



酒々井町に入る



プリミエール酒々井

11時20分、再スタート。酒々井町役場に隣接するプリミエール酒々井という町立図書館、文化ホールの横を過ぎると、アパートや住宅が増え51号線からの音を防ぐための防音壁が設けられている。

さらに歩いて行くと「酒々井町大道」歩道橋があり、

そこを左折してしばらく進むと11時45分、京成酒々井駅に着いた。

まだ午前中だが、休まず歩き続けて疲れたのと区切りがいいので今日はここまでとする。今日歩いた距離は11kmほどで、博物館までの1kmを合わせて12kmといったところだ。

すぐに来た上り京成線に飛び乗り佐倉まで戻る。京成佐倉駅で下車、昼食を食べようと店を探すが、駅前には思っていたより店は少なかった。JR佐倉駅の方に向かって歩いてみるが適当な店が見つからず、ナビで検索して見つけた中華料理店に入る。昼食どきで賑わっていた。

昼食休憩の後、せっかくここまで来たのだから国立歴史民族博物館を目指す。駅からほぼ1km、出来れば歩かずに行きたかったが歩かざるを得ない。疲れで足を引きずるような感じだったが10分ほど着いた。この博物館は佐倉城址公園内にあり、休日など一日でも充分楽しむことができるだろう。

国立博物館だけあって展示品の数、展示方法、説明パネルなどどれも非常にレベルが高く圧倒される。ボランティア説明員も多く質問にも応じてくれた。

写真はフラッシュ禁止で撮影できる展示が多かったが、中にごく一部撮影禁止のものもあった。“北海道開拓”“沖縄支配”“部落問題”などデリケートな問題についての展示である。意外だったのは、太平洋戦争関係のものが禁止に含まれていなかったことだ。周知の事実とはいうものの「侵略戦争によりアジアの人々を苦しめた」といった表現もあり、国の施設としては少し踏み込んでいると思われた。

常設展だけでも、

第1展示室 原始・古代

第2展示室 中世

第3展示室 近世

第4展示室 民俗

第5展示室 近代

第6展示室 現代

と分かれていて、2時間では速足でもとても観きれなかった。



博物館入口



博物館内部



「算額」 民衆が数学の問題を解いて神社に奉納



商いと交流



民権家の法律学習



戦時中のポスター

■ 2, 018年01月16日(木) ④酒々井→久住

年末に歩こうと思っていたが忙しく、年を越してしまった。ここ数日寒い日が続いたが今日は寒さが緩んだので行くことにした。

家から乗り継いで京成酒々井駅に11時20分到着。すぐにスタートする。

千葉からはずっと国道51号を歩いてきたが、ここからは京成線に沿って西側の道に行くことにする。

駅を出るとすぐに県道137号(宗吾-酒々井線)に入った。歩道が狭く道路側溝の上を注意しながら進む。住宅地域を抜けるとすぐに人気のない林が続いた。しばらく進むと上り坂にさしかかった所に宗吾霊堂1.5kmの表示があった。

11時50分、佐倉市から成田市に入る。

11時55分、京成電鉄宗吾参道駅入り口を通過。

12時、県道137号は宗吾霊堂に突き当たり二方向に分かれ、ここから県道464号になる。

せっかく来たので「宗吾霊堂」でお参りする。

日本全国に義民の話は多いけれど、千葉県ではこの佐倉惣五郎が代表各だろう。



宗吾霊堂 1.5 km



正面に宗吾霊堂

霊宝殿の説明書きに、『村の名主、木内惣五郎は下総佐倉藩の悪政に苦しむ民を救うため、藩重役に減税を願い出たが取り上げられず、万策尽きた後ついに四代將軍家綱に窮状を直訴。十万人の民の命は救われたが、その罪により惣五郎と四人の子は処刑され、遺骸はここ刑場跡に埋葬された。その後百年祭において、佐倉藩主堀田正亮は惣五郎の功績を認め、名誉は回復され「宗吾」の法号が与えられ宗吾霊堂に祀られた。宗吾霊堂は宗吾精神(大慈大悲の広い心)を敬慕する人々の信仰を集めている。』とある。

宗吾霊堂を出て県道464号をしばらく行くと、溜池があり「公津の社近隣公園」とわかった。右前方、京成線公津の社駅の近くに見えるマンション群はサングランデマンションだ。

今回選んだ道は、これまでずっと歩いてきた車のための道路国道51号と異なり、人の住む



公津の社付近の道祖神

地域の道路で歩いていて変化があり楽しい。

12時30分、成田消防公津分室を過ぎて左折、成田駅方面に行かずに県道161号(成田-滑川線/公園通り)に行く。

12時50分、加良部5丁目で昼食休憩。このあたりはアパートが密集した住

居地区だ。

ここまで1時間半歩いたが、今のところ足は問題なさそうなので、今回はJR総武本線「久住駅」まで歩こうと思う。

13時10分、スタート。加良部四丁目を左折、成田国際高校前を通り中台野球場を過ぎる。ここには体育館などもあり中台運動公園というようだ。

13時35分、郷部大橋を渡り立体交差で総武本線の上を過ぎる。ここからは商業地域に入り、しばらく郊外型の物販・飲食店舗が続いた。さらに進むと店舗はまばらになり、北総線成田スカイアクセス高架橋の下を通る。この道路は交通量がとても多く、特に大型トラックが頻繁に通る。すぐに緩やかな上り坂になり総合医療センター成田病院の横を通過。



JR総武本線立体交差



美郷台付近 遠方に北総線高架が見える

14時10分、県道408号小橋川を渡り、その先宝田2又路を右折し滑川方向、県道161号/水掛街道を進む。根木名川を渡ると、急に家がまばらになり田畑が多く里山の道といった感じになった。



成田市芦田地区 上空を飛行機が頻繁に通過する

足には時々鋭い痛みが走り、かなり疲れはあるが久住駅まではもうすぐ、何とか行けそうだ。

芦田地区に入ると成田空港が近いので、上空をたくさんの飛行機が下降しながら通過していく。飛行機は3、4分に1機通過する感じ。これほど上空を頻繁に通過すると一日中騒音が煩わしいだろう。

GPSで調べた田圃の中の近道を進むと、15時05分「久住駅」に着いた。無人駅で、おばさんが一人で駅の清掃をしていた。この時間帯の成田線はほぼ1時間に1本しかないが、運よく15:17分に千葉行きがあった。乗客は私と掃除のおばさんだけだった。今日歩いた距離は15kmくらいだろう。体の節々が痛く、やっと歩くという状態だったが歩き終わった満足感はとてもいい。



総武本線 久住駅

■ 2, 018年03月13日(火) ⑤久住→下総神崎

家から成田方面を目指して歩いてきたが、今回の目的地をどこにするかはっきり決めていなかった。既に4回を終え、今回で5回目なのでできれば今日を最終回にしたい。

距離からすると利根川に架かる「神崎大橋」が妥当。順調に進むことができれば、その先の佐原「水郷大橋」までいけばベストと考えていた。

10時50分 JR成田線久住駅をスタート、続きを歩く。

天気は晴れ、春の日差しで気持ちの良い天気恵まれた。雲はなく春特有の霞がかかったような空。今日は久住駅から県道161号に入り、北上して利根川沿いを歩こうと思っていたが、最初から道を間違えてしまった。ナビを確認せず、前回のうろ覚えで駅を出てすぐの道を右折すればよいと思っていたが、それが誤りだった。駅を出て、1kmほど進んで右折して161号に入らなければならないところを、すぐに右折したため県道115号に入ってしまい気付かずそのままずっと歩いていた。

JR成田線と立体交差したあたりから道路は東に向かい、このまま進むと目的とは逆の南東方向に行ってしまう。

辺りは丘陵地帯でなだらかな坂道が続き、人家はまばらでずっと畑や林である。成田空港の航路にあたり、爆音で飛行機が真上を頻繁に通過する。歩いていると満開の梅、澄んだウグイスの鳴き声がとても心地よい。



ウグイスの鳴き声が聞えるのどかな道



市川團十郎先祖居住地の碑

11時07分、成田市幡谷付近「市川團十郎先祖居住地の碑」の案内板を発見。

11時15分、歩道がなくなった。ブラインド状態でカーブを曲がってくる車に注意しなければならない。付近にはゴルフ場が多く3つもあった。

11時35分、県道115号と県道63号(成田一下総線)の交差点(土室)に着き、左折して県道61号を圏央道と並行して北上する。

最初で間違ってしまったため、あまり景色の良くない道路を歩くことになってしまい残念。利根川沿いの道路を気持ちよく歩きたいと思っていたが諦めるしかない。この時点でもう佐原まで行くのは難しいだろう。

12時00、大室地区に入る。県道63号が工事のため



土室交差点(左折して県道61号に入る)

迂回道路になっていた。道を間違ったうえに迂回路を歩くことになって不本意。景色は代り映えしないし、回り道をさせられたという感じ。

この道路は自動車専用道路のようで人気はなく、走っているのはほとんどが大型トラックだ。

12時15分、県道63号と県道79号の交差点「成井」に着いた。セブンイレブンがあったので軽く食べる。これから先の沿道に食事できる場所が見つかるかどうかかわからないが、昼食は休憩を兼ねてゆっくりと地元のを食べたい。

12時35分、成井橋、橋の下は田圃になっていた。川が涸れそのあと川底を田圃にしたようだ。

12時45分、倉水橋、橋の下は同じように田圃だった。

12時55分、圏央道下総インター入口を通過。



13時00分、圏央道の下を通過、左足つま先に違和感があり少しずつ痛みが出てきた。

さらに進むと畑が広がり「成田ゆめ牧場」入口の案内板。

13時15分、成田市大栄消防署下総分署、名木小学校を通過。ほとんど家が見当たらない過疎地域なのに消防？小学校？という感じ。

空き地を利用したソーラー発電所が目につく。これまで遊休地の利用方法として良かったかも知れないが、今後買い取り料金の改定などで事業として成り立つのだろうか？

変化に乏しい道路をさらに進み、林を抜けると前方が開け平地が広がりやっと人家のある地域にたどり着く。

13時30分、T字路（小松交差点）に着いた。

ここを右折して県道63号から県道107号に入る。

標識がなかったのでわからなかったが、既に成田市から神崎（こうざき）町に入っているようだ。

13時35分、JR成田線の踏切を渡る。

さらに行くと、神崎大橋方面と神崎駅方面の分かれ道となった。できれば利根川に架かる神崎大橋を渡りたか



ったが、足の疲れと痛みで断念して神崎駅に向かう。

14時02分、JR下総神崎駅に到着。

佐原まではまだ5～6kmあり今日はここまでとする。今回歩いた距離は14kmくらい。

ちょうど列車が着いたところで、駅前には迎いの車が2, 3台待っていた。

途中、食堂どころか店らしい店はなく昼頃に見つけたセブンイレブンが唯一で、結局昼食を食べず休まずに歩き続けてしまった。

今回は最初に道を間違っしまい、あまり面白みのない道を歩くことになり残念だった。次回を最終回にして「水郷大橋」を最終地点としよう。

(2018.03.13)



■ 2, 018年04月03日(火) ⑥下総神崎→佐原

下総神崎駅まで1時間半、11時ちょうどに到着。すぐにスタートする。
今日は快晴、春特有の霞がかった空で風は爽やかだ。

駅を出て直進、すぐに県道356号に入り神崎大橋を目指す。北西方面に進むので少し戻る感じになる。

神崎の町を進むと素朴な古い町並みで、関東八十八霊場第四十四番 厄除け大師「神崎寺」や酒造「仁勇」、神崎神社などを通り過ぎる。町を抜けるとすぐ徐々に上り坂になり神崎大橋が見えた。

11時25分 神崎大橋に到着。利根川に懸かる長大な橋。この橋を渡って茨城県に入ってみる。

道路の脇に独立して立派な歩道がついている。渡り始めるとすぐに「渡り切るのに770歩」の表示。一步の歩幅が約70cmだから540mほどの長さとい



厄除け大師「神崎寺」



神崎大橋(千葉県側)

って延び、その道路に並行してサイクリングロードのようなアスファルト舗装の立派な歩道が併設され歩きやすい。歩き始めると、背中からのそよ風を受けとても気持ちいい。360度見渡す限り障害物がなくとてもいい景色。小さな鳥が二匹忙しく鳴き声を上げて上空を飛んでいる。

ペペの家で聴いた「ベニヒワ」の鳴き声に似ている。川沿いの木陰からトンビが四羽飛び立ちゆったりと空を舞っている。

うことになる。橋の中央から両岸を見ると本当に大きな川ということがわかる。川は豊かな水を湛え水面は微風でわずかに揺れている。完全に渡り切るのに7~8分もかかった。これで瞬間だけけれど茨城県に入った。

茨城県側の道に行くこともできるが、再び橋を渡り千葉県側に戻る。ここから利根川沿いの道を歩いて水郷大橋まで行こうと思う。

「水郷大橋まで8.7km」の表示があり、それほど遠くないことがわかった。県道356号は利根川に沿



「橋を渡りきるまで約770歩」



川幅が広い

一方、アスファルト歩道の上には夥しい数の干乾びた“みみず”が横たわっていて、いつも気になるのだが歩いていると本当にミミズが多い。

12時0分、「神崎本宿」の標識。

この道路には店が全く見当たらない。喉が渇き水が欲しくなったらどうしよう？神崎大橋を渡る前にペットボトルを買っておくべきだった。

12時28分、香取市に入る。佐原市と思っていたが、調べると佐原市は2007年に近郊の町村と合併して

香取市になっていたのだった。



下総神崎町から香取市に入る



菜の花の群生が続く

日陰が全くなくとても暑い。汗がとどめなく流れ出てくる。今のところ問題ないが水分補給なしに歩き続けて脱水状態になったらどうしよう？まあ、万一の時には車を止めて誰かに水を分けてもらおう。

河川敷には群生する菜の花が延々と続きとてもいい眺め。

12時40分、香取市川尻

しばらく行くと、サイクリングロード並みの立派な歩道から道幅が少し狭くなった。

13時00分、2kmくらいだろうか、前方にかすかに橋が見えてきた。

この歩道には500mごとに「海から〇〇km」の表示があり歩いた距離がわかる。多田島あたりになると水郷大橋がはっきりと見えるようになった。

前方から歩道をゆっくと近づいてくる車に気付いた。？と思っていたら国土交通省の巡回車で慎重に横によけて通してくれた。一礼すると先方も丁寧に頭を下げて通過していった。

13時25分、水郷大橋の300mほど手前で車道は大きく右にカーブし川から離れていく。このまま歩道を直進して橋を渡ることができるのかわからなかったが、あまりにも遠回りになるのでそのまま歩道を進んだ。

ここからは自転車道路（銚子小見川佐原自転車道路）になっていて、途中に階段があり橋に乗ることができた。

13時35分、水郷大橋の袂に到着。神崎大橋からここまで歩いて、途中おじいさん一人、サイクリスト三人と会っただけだった。

水郷大橋を渡って茨城県側に行く。当然のことに橋の中間には県境（茨城県／稲敷市）がある。橋を渡り切って茨城県側に入っても道路はずっと先まで続いていて、かなりの距離を歩くことになるので、川沿いの歩道に降りて橋の下を通り反対側に渡る。この水郷大橋には道路の両側に二本の歩道が付いていて、反対側の歩道で千葉県側に戻ってきた。



氾濫水位計測？



水郷大橋



茨城県「稲敷市」から千葉県「香取市」に入る

これで今日の目標は達成できたので佐原駅に向かう。市街地の入り口には小野川が流れ「西まえばし」を渡る。この川は利根川に通じ、水郷舟巡りが有名。川の畔の桜は満開でとてもいい景色。



小野川に懸る「西まえばし」からの眺め

佐原の街を歩いていくと、10年ほど前に次男と来た自転車ツーリングでこの付近で夕食を食べたことを思い出した。県道356号から駅前通りに入ると急に店が少なくなり、途中で何か食べようと思っていたが、結局神崎大橋から水郷大橋まで飲まず食わずで歩き通してしまった。水分補給なしで3時間半歩き続け、かなり汗をかいたはずだったが特に問題なかった。

14時30分、JR佐原駅到着。

今日歩いた距離は14kmほどだろう。跨線橋を渡り南口に出ると、こちら側が駅の正面だった。

駅前のセブンイレブンで、今日初めての飲み物（シールド）を飲む。冷たくて微アルコールがのどに染みた。

昨年の9月末から半年もかかってしまったが、6回で水郷大橋にたどり着いた。



JR佐原駅

これまでに歩いた距離の合計は約83km、1回の平均は14kmといったところだ。

以前と比べて足の疲れが早く、終盤になると時々左足親指の付け根に鋭い痛みが走ることがあり、途中で歩けなくなる不安もある。長い距離を歩くことは、辛いこともあるが楽しみも多いので、健康のためまだ続けていきたいと思っている。(2018.04.03)

